

○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日	～	令和7年2月28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日	～	令和8年2月14日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケートの結果から、お子様が安心して、楽しく通っている姿から、保護者の方の安心感や事業所の満足度につながり、高い評価をいただいております。	こどもたち一人一人の思いや意欲を大切にしながら、その子の特性に寄り添った支援を実施しております。 否定的な言葉ではなく、環境を整え、良い方法を伝え一緒に実践する事で、褒められた経験をたくさん積み重ねていくかわりを大切にしています。	今後も利用児、保護者の皆様に信頼と安心感を持って利用して頂けるように、一人一人を大切に支援に努めてまいります。
2	幼稚園や認定こども園に近い環境での小集団療育を行っています。こども達が、楽しく通い、自分でやってみたいと思う気持ちや育つような様々な遊びを設定しています。	季節の行事、粗大運動や感触遊び、戸外活動を通じて、成功体験を重ね、自分でできる事が増える喜びを感じてもらえるよう支援しています。	発達段階に合わせて、専門職による個別療育も取り入れながら、運動や動作の基本的技能の獲得や向上、身体機能の向上や感覚の統合を目標に支援を行います。
3	生活習慣の獲得、日常生活動作の獲得、お友達との関り方などの支援を行うことで就学に向けての集団生活の基盤となる土台作りや地域移行をめざしています。	発達段階に合わせたコミュニケーションスキルを獲得するため、生活の中で、名前を呼ぶ、相手を意識することを大切に支援をしています。また、視覚的な方法やスケジュールの提示を行い、見通しを持つことで、落ち着いて活動に参加できるよう支援を行っています。	必用に応じて関係機関や幼稚園、認定こども園と連携し、こども達、ご家族に寄り添った支援を大切に安心できる環境を提供できるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる場(保護者会や座談会など)の提供が十分に出来ていないことに課題があると考えられます。	保護者参加の研修や行事を予定していますが、曜日が固定されていたり、開催の時期が固定されたりしている事が要因と考えます。	保護者の方の要望などを伺いながら、今後の検討課題として受け止めております。
2	活動内容や行事予定、マニュアル関係などの周知に課題があると考えられます。	各種情報の周知については、契約時やモニタリングの面談時、お便りや連絡帳、SNSなどで発信・周知を行っていますが、不十分であったことが課題の要因と考えます。	今後も引き続き、契約時やモニタリングの面談時、お便りや連絡帳、SNSを通じて丁寧な説明に努めます。各種マニュアルについては周知の方法や掲示版の利用を検討してまいります。
3	非常・災害時の対応の周知や各種訓練や研修の実施についての周知に課題があると考えられます。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの場合もあり周知機会が不足していることが要因と考えます。 SNSの周知と発信不足も要因のひとつと考えられます	避難訓練などを実施した際には、保護者の方への周知のため、連絡帳やSNSでの発信を心掛けます。